

TIGER's Value Creation Story

File.10

認定鳥獣捕獲事業者の新メンバー8名が始動

地域を守るため、日々現場へ足を運ぶ社員たち。今回は、新たに「認定鳥獣捕獲事業者」の認定を受けた方と、取得難易度の高い「夜間銃猟資格」に挑んだ社員を特集します。日々の業務と並行しながら射撃精度の向上を目指し、見事資格を手にした過程には、現場で活かせるヒントが多く詰まっています。捕獲活動や地域への貢献に向けた、それぞれのリアルな声にぜひご注目ください！

新メンバー

認定鳥獣捕獲事業者

- 口テダット(わな猟)
辻野拓海(わな猟)
安田隆一(わな猟)
堀川一臣(わな猟)
鈴木寛大(わな猟・第一種)

- 山上康史(夜間銃猟)
鶴田吉則(夜間銃猟)
森麟太郎(夜間銃猟)

※認定鳥獣捕獲事業者：鳥獣保護管理法に基づき、鳥獣の捕獲を安全かつ効率的に実施できる能力があると都道府県知事が認めた事業者のこと。

昨年度の美郷町での捕獲事業

一丸となって掴んだ目標達成と現場での悔しさ

チーム一丸となって目標捕獲頭数を上回る成果を出せたことが、最も良かった点だと考えています。私たちは主に「くくり罠」というワイヤーを用いた罠で捕獲を行っています。しかし、動物に目の前で逃げられてしまったことも何度かありました。計画通りの捕獲に至らなかった経験は、次の活動に活かすべき教訓だと捉えています。

認定後も変わらぬ「現場主義」の姿勢

肩書きにおごらず、「やるべきことをやる」

今回、認定を受けましたが、現場での動きが変わることはありません。認定を受けたからといって「地位が高くなったわけではない」。そう自分に言い聞かせています。毎日現場に出て、地道に捕獲に向き合う実務者として、やるべきことをおごらずにやり遂げる。その誠実な姿勢こそが、地域の安全を守る土台になると考えています。



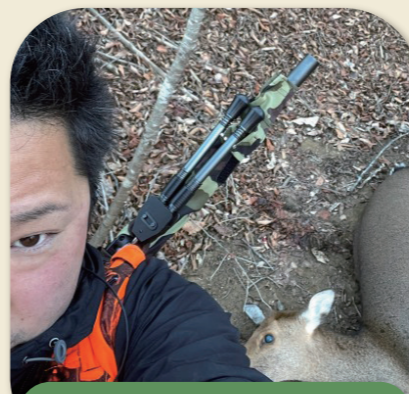
美郷バレー中国営業所
つじのたくみ
辻野拓海さん

※くくり罠：ワイヤーロープで輪を作り、動物が足を踏み込むと締まる仕組みの捕獲用具

今後の展望

「命」の尊さと向き合い、地域に価値を循環させる

当社は「単に数を減らす」ための捕獲は行いません。動物も生態系の一員であり、守るべき存在だからです。まずは畑や林業の環境改善を行い、動物を寄せ付けない工夫をする。次に自社商品での侵入防止を徹底し、防げない場合のみ捕獲を行います。これは「すべてを取り尽くして管理する」ことが目的ではないからです。以前は廃棄されていた肉や皮に、新しい価値を与えたい。レストランでの活用などを通じ、地域活性化につながることを私の願いです



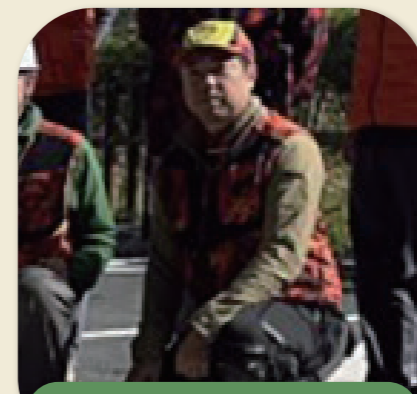
HSM本部 本部長
もり りん た ろ う
森麟太郎さん

資格取得における「壁」と取り組み

新しい銃の所持後から本番までの期間が短く、十分な練習時間を確保できなかった点に苦労しました。そのため、短い時間で精度を高める必要がありました。限られた時間を有効活用し、集中的に練習へ取り組みました。その環境の中でも質を意識し、短時間で成果を出すことを徹底。追い込まれてから集中力を発揮できた点も、自身の強みとして再認識できました。

学びを実務へ活かす意気込み

単なる資格取得にとどまらず、自身の成長と自信につながりました。今後は安全管理や技術向上だけでなく、現場指導や組織全体の底上げにも活かしていきます。



HSM本部 統括マネージャー
甲信越営業所 所長
やま か み や す し
山上康史さん

資格取得における「壁」と取り組み

一番大変だったのは射撃技能です。5発連続で50m離れた的紙に、半径5cm以内に当てなくてはならず、緊張感の中、励みました。ただ漠然と撃つのではなく、1回の練習で集中力が続く「10~15発程度」に全精力を注ぎました。集弾ができるように練習をして、限られた弾数の中で姿勢や呼吸を意識。1発ごとの質を高める練習を徹底しました。

学びを実務へ活かす意気込み

夜間銃猟の有資格者として、実際の捕獲活動に少しでも貢献したいと思っています。また、役場へ伺う際のリアルな経験を交えた提案活動としても、大いに活かしていきます。



HSM本部 西日本営業部 部長
つる た よ し の り
鶴田吉則さん

資格取得における「壁」と取り組み

夜間銃猟では高い射撃精度が求められます。現所持の自動銃では集弾性に限界があり、精度の高いハープライフルが必要でした。増銃の許可をいただくまで、警察との協議に一番苦労しました。許可を取得するために射撃の練習に励み、仕事での必要性を訴え、警察に増銃を認めていただいたのが、最も努力したことです。

学びを実務へ活かす意気込み

現場の課題解決につながる知見として広めていきたいと思っています。有資格者で満足せず、地域の課題解決や指導に役立つよう実践経験を積み、技術と安全面を磨きたいです。

※集弾：弾を標的上の同じ場所に当てること

キラリポイント

キラリと輝く！ メンバーに注目！

目覚ましい活躍を見せる社員を称賛する新企画がスタート。記念すべき初回の主人公は「業績への貢献が明確で、新たな取り組みへの挑戦にも積極的」と期待を集める熊谷さん。3つの魅力を軸に、その頼もしい姿に迫ります。

熊谷さんの魅力を **もっと深掘り!**

HSM本部 東日本営業部
東北営業所

くまがい けいいちろう
熊谷 溪一朗さん

Profile

出身地：岩手県一関市
誕生日：3月5日
趣味/特技：野球観戦・アウトドア・
読書・散歩

熊谷さんの キラリPoint

- ✓業績への貢献が明確
- ✓新たな取り組み・挑戦に積極的
- ✓今後の成長への期待感が高い



キャンプ

01. 着実な業績貢献

既存顧客の見直しと細やかな情報提供で目標を達成

2025年はこれまで以上の売上、粗利目標に挑む年度になりましたが、売上・粗利ともに目標額を達成することができました。特に上期では、長年お付き合いのあるお客様への電気さく資材売上を今まで以上に増やすという個人目標も達成できました。

成果を得るために行ったのが、過去5年間あまり取り引きのなかった販売店も含めた訪問と、各店舗の状況やニーズの洗い出し。なぜ売れているのか、あるいは売れていないのかを分析し、日頃から営業担当者との関係構築に努めました。なお、電気さくの購入には行政から補助金が出る人が多いのですが、中には制度をご存知ない営業担当者も。そこで補助金や近隣の鳥獣被害に関する情報を積極的に提供したことも受注につながりました。

02. 新領域への挑戦

防鳥ネットの新規開拓と高所作業資格の取得

直近で挑戦しているのが、防鳥ネットの販売と狩猟捕獲活動の2点。防鳥ネットについては、宮城県内の新たな企業と契約を結び、ガソリンスタンド向けの鳥の営巣防止用のネットを設置する取り組みを始動。県内ではまだ事例が少なかったため、高所作業車の特別教育という資格も取得し、設置案件に対応できるように準備を整えました。また、指定管理鳥獣の捕獲員メンバーに登録。新しいことへ挑戦する際どうしても不安や緊張してしまいます。ですが取り組んだことが達成できた、成功できたときの瞬間をイメージして今後も様々なことに取り組んでいこうと思います。

03. 成長への期待

より一層、地域に根差した鳥獣捕獲事業を!

今後は捕獲事業に力を入れていきたいと考えています。鳥獣被害対策に携わる企業として、地域に根差した捕獲活動を行うことは、会社を今後何十年と継続していくためにも非常に重要です。実際に狩猟活動をされている先輩方から大変だとは伺っていますが、私自身、場数を踏み、実践を通してスキルを磨いて、製品の販売と捕獲活動の両輪で地域の鳥獣被害対策に貢献したいと思っています。

楽天モバイル最強パーク宮城



設置作業後の電気さく

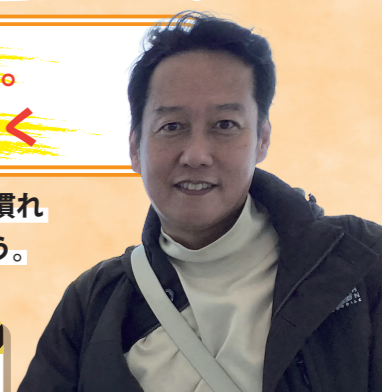


宮城県内ガソリンスタンドにて防鳥ネット施工

こういうときこそ

基本に立ち返ろう!

「いつもの作業」に潜む落とし穴。
基本の徹底がお客様の信頼を築く



HSM本部 西日本営業所
九州支店
なかがわ けんいちろう
中川 健一郎さん

今回お話を伺ったのは、九州支店の中川さんです。出荷や伝票発行の業務を例に、慣れから生じるミスを防ぎ、正確な作業を行うための基本姿勢について考えてみましょう。

慣れから起こり得る、怖いミス

似た社名や住所による「手配間違い」のリスク

九州支店では出荷や伝票発行といった事務手続きも多々行っています。そうした事務作業の中で起こり得るのが、似たような住所や商品名に対する認識誤りです。例えば、同じ地域に複数の会社の拠点がある場合、送り先の最後につく「〇〇支店」や「〇〇営業所」といった部分だけで判断し、会社名を取り違えてしまうといったリスクが潜んでいます。こうした状況は繁忙期だけでなく、業務が落ち着いているタイミングでも起こり得るものだと感じています。

常に注意すべきこと

Check

整理整頓や複数人でのチェック

ミスを防ぐために意識したいのは、目の前の書類や作業スペースをきちんと整理整頓し、煩雑な状態で業務を進めないことです。複数の業務に同時に手をつけるのではなく、順を追って一つひとつの仕事を的確に完了させることが大切だと思います。また、思い込みによるミスを減らすためにはチェック体制も重要です。各作業について一人だけで判断せず、ダブルチェックを行うことが重要だと考えています。

日々の心がけ

慣れている仕事こそ 思い込みを疑う

当社でよく取り扱っているのが、複数商品の組み合わせ販売です。よくご注文いただく定番の組み合わせは存在するものの、お客様のご要望によってその組み合わせが変わるケースも時折発生します。業務に慣れて内容の予測がつくようになる時期こそ基本に立ち返り、しっかりと確認する姿勢を忘れないようにしています。

あの人に聞きたい! 質問リレー

社内の気になる方への質問をリレー形式でつなぐこの企画。初回は、新たに社内報担当に加わった西山さんから、就任の意気込みと最近買った自分へのご褒美を紹介してもらいました。



生産部 品質管理・購買

にし やま たく や
西山 卓也さん

西山さんよりご指名!
次のリレー走者は……

総務部 ロテダットさん

休みの日の
過ごし方を教えて
ください!

Q. 社内報担当者としての意気込みを教えてください!

2026年から社内報の担当になり、生産部(品質管理・購買)へ異動して業務の幅が広がりました。より忙しくなりますが、当社の事業や従業員の魅力を社内外に発信できるよう努めてまいります。

Q. 自分へのご褒美や嬉しかったことを教えてください!

約1年前に大型バイクを購入しました。2025年は北海道や九州をツーリングで訪れ、2026年はゴールデンウィークに長野県の蓼科へ行く予定です。美郷町の「たまりば邑」に立ち寄ることも計画しております。

